



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社 魚力 上場取引所 東
コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 隆英
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 尾後貴 隆 TEL 042-525-5600
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,698	8.0	360	22.1	588	33.4	390	21.8
2024年3月期第1四半期	8,057	△3.9	295	26.2	441	26.5	320	41.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 314百万円 (△3.7%) 2024年3月期第1四半期 326百万円 (94.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	28.00	—
2024年3月期第1四半期	23.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	21,325	17,173	80.5
2024年3月期	21,398	17,250	80.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,162百万円 2024年3月期 17,238百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	24.00	—	28.00	52.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,200	5.1	540	17.8	930	21.0	620	15.2	44.43
通期	37,600	3.5	1,630	3.0	2,030	△0.4	1,310	△3.8	93.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2024年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	14,620,000株	2024年3月期	14,620,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	666,309株	2024年3月期	666,309株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	13,953,691株	2024年3月期1Q	13,952,691株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を受け個人消費、また、好調な企業収益などを背景とした設備投資を起点に緩やかに回復いたしました。しかしながら、一方で、物価上昇による消費マインドの低下や円安、一部の業種におけるコスト増加による企業業績の悪化、中国経済の減速など、景気下振れ要因が多く見られます。収束を見通せないウクライナ情勢や中東情勢は景気の先行きに関する不透明感を濃くしております。

水産業界におきましては、地球的規模で地上からの供給に代わるタンパク質の供給源として、また、国内外において広がる健康志向などから、養殖業を含む水産業、また、水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外で高まる水産物需要・わが国では地球温暖化が原因とも言われる不漁による魚価高騰、物流をはじめとする諸コスト増大など、当社を取り巻く経営環境はたいへん厳しい状況にあります。なお、2023年8月末より定期的に行われている東京電力福島第一原子力発電所処理水放出について、現状では業績への影響は限定的であり、引き続き推移を注視してまいります。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、新たに策定した中期経営計画（2024-2026年度）の下、国内事業の着実な成長と海外事業の拡大をめざし、仕入、販売、海外、人財、財務、地球環境といった分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

このような中、第1四半期における全店売上が前年を上回りましたが、これは消費者の消費マインド、購買力が相応に高まったことに加え、前年度退出店同数ながら、経営資源を効率的に活用できる最適な店舗ポートフォリオ（筋肉体質の店舗網）の構築を念頭に戦略的に出退店を行った効果が現れたものと考えております。

これらの結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は86億98百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は3億60百万円（前年同期比22.1%増）、経常利益は5億88百万円（前年同期比33.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億90百万円（前年同期比21.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業では、新たなパイニングパワーの構築に力を注ぎ、魚種の豊富さや旬を意識した仕入れを行い、鮮魚専門店ならではのにぎわいのある売り場作りを実施いたしました。また、商品に付加価値をつけ差別化を図るとともに、特に生ネタ寿司の販売を強化いたしました。一方で、仕入・物流コストの増加に加え賃上げによる人件費の増加に対応するため、店舗ごとの新たな繁閑状況に応じた人員配置の下、作業オペレーションの統一化など運営の一層の効率化、資材の絞り込みなど徹底したコスト削減に取り組みました。また、いわゆる2024年問題に対応するため、配送ルートの組み換えや積載効率の向上による減車など配送コストの削減に取り組みました。

この結果、売上高は74億20百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は4億18百万円（前年同期比27.2%増）となりました。

②飲食事業

飲食事業では、社会活動・経済活動の正常化やインバウンド需要の高まりなどによる来店客数の増加が後押しとなり、売上高が前年度に比べ増加いたしました。また、2022年3月期より、各店について店舗運営を担当する店舗管理者とメニュー・調理を担当するシェフとの役割分担を明確化するなど店舗オペレーションの見直しや物流の合理化を含む構造改革に取り組んでおりますところ、一定の効果を上げており粗利益額が増加いたしました。一方で人件費や水道光熱費をはじめとする店舗運営コストが増加しております。

この結果、売上高は3億75百万円（前年同期比10.5%増）、営業利益は7百万円（前年同期は営業損失0百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業では、子会社の魚力商事株式会社が、米国において既存取引先への販売、また、アジアにおいて新規取引先の開拓に取り組んでおりますところ、2023年5月に設立した合併会社のCP-Uoriki Co., Ltd. が、2024年6月までにバンコク市内を中心にタイ国内の大型ショッピングモールなどに鮮魚と寿司の小売店舗を10店舗オープンしたことから、これら店舗向けの輸出を伸ばしております。国内では飲食店舗、地方荷受向けなど売上を伸ばしております。一方で、人件費や仕入・出荷に付帯する費用など販管費が増加いたしました。

この結果、グループ全体の卸売事業の売上高は8億86百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は8百万円（前年同期比68.1%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は116億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が8億73百万円、売掛金が3億66百万円減少したことによるものであります。固定資産は96億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億29百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が11億93百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は213億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ72百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は38億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に賞与引当金が1億97百万円増加したものの、未払法人税等が1億89百万円、その他に含まれる未払金が67百万円減少したことによるものであります。固定負債は3億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が14百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は41億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は171億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が77百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は80.5%（前連結会計年度末は80.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、直近の業績動向等を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2024年7月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,091,816	8,218,638
売掛金	3,405,737	3,039,493
商品及び製品	289,387	214,322
原材料及び貯蔵品	13,734	12,857
その他	143,777	157,008
流動資産合計	12,944,452	11,642,320
固定資産		
有形固定資産	1,053,322	1,014,806
無形固定資産	25,488	24,325
投資その他の資産		
投資有価証券	5,568,572	6,761,773
その他	1,806,452	1,882,470
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,374,774	8,643,994
固定資産合計	8,453,585	9,683,125
資産合計	21,398,038	21,325,445
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,309,491	1,412,767
未払法人税等	436,792	247,000
賞与引当金	485,176	682,783
その他	1,609,583	1,489,222
流動負債合計	3,841,043	3,831,774
固定負債		
退職給付に係る負債	19,707	18,618
資産除去債務	235,356	250,349
その他	51,792	50,740
固定負債合計	306,856	319,708
負債合計	4,147,899	4,151,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,470,505	1,470,505
利益剰余金	14,281,486	14,281,548
自己株式	△960,617	△960,617
株主資本合計	16,354,994	16,355,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	902,021	824,039
為替換算調整勘定	1,133	1,898
退職給付に係る調整累計額	△19,158	△18,075
その他の包括利益累計額合計	883,996	807,862
非支配株主持分	11,148	11,044
純資産合計	17,250,138	17,173,963
負債純資産合計	21,398,038	21,325,445

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	8,057,476	8,698,749
売上原価	4,806,504	5,130,038
売上総利益	3,250,971	3,568,711
販売費及び一般管理費	2,955,576	3,208,137
営業利益	295,394	360,573
営業外収益		
受取利息	986	2,790
受取配当金	50,023	61,019
持分法による投資利益	611	4,105
為替差益	48,333	4,149
投資有価証券売却益	65,194	128,728
貸倒引当金戻入額	723	—
その他	11,159	27,397
営業外収益合計	177,032	228,191
営業外費用		
投資有価証券評価損	500	—
デリバティブ評価損	30,584	—
営業外費用合計	31,084	—
経常利益	441,342	588,764
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	483	208
減損損失	11,000	14,900
特別損失合計	11,483	15,108
税金等調整前四半期純利益	429,860	573,655
法人税、住民税及び事業税	166,686	225,676
法人税等調整額	△57,475	△42,683
法人税等合計	109,210	182,993
四半期純利益	320,649	390,661
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△303	△103
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,952	390,765

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	320,649	390,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,031	△77,981
為替換算調整勘定	672	237
退職給付に係る調整額	3,215	1,082
持分法適用会社に対する持分相当額	—	526
その他の包括利益合計	5,919	△76,133
四半期包括利益	326,569	314,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	326,872	314,631
非支配株主に係る四半期包括利益	△303	△103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	6,857,775	339,225	844,642	8,041,643	15,832	8,057,476	—	8,057,476
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	6,857,775	339,225	844,642	8,041,643	15,832	8,057,476	—	8,057,476
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	3,537	3,537	4,650	8,187	△8,187	—
計	6,857,775	339,225	848,180	8,045,181	20,482	8,065,664	△8,187	8,057,476
セグメント利益 又は損失(△)	328,619	△848	26,464	354,235	9,077	363,313	△67,918	295,394

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,918千円には、セグメント間取引消去76千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△67,994千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	7,420,412	375,001	886,729	8,682,142	16,606	8,698,749	—	8,698,749
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	7,420,412	375,001	886,729	8,682,142	16,606	8,698,749	—	8,698,749
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	18,227	18,227	5,519	23,747	△23,747	—
計	7,420,412	375,001	904,956	8,700,369	22,126	8,722,496	△23,747	8,698,749
セグメント利益	418,093	7,448	8,430	433,972	10,304	444,277	△83,704	360,573

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業等でありま
す。
2. セグメント利益の調整額△83,704千円には、セグメント間取引消去212千円及び各報告セグメントに配分し
ていない全社費用△83,916千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に
係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントの変更等に関する情報
該当事項はありません。
3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半
期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりでありま
す。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	49,281千円	50,338千円